

登録地域建造物資産



第67号

中彦蠟燭店

なかひころうそくてん

所在地	西区幅下1丁目
年代	江戸末期築
用途	住宅

名古屋市内旧美濃路に残る希少な町屋。母屋はつし2階。江戸末期の建築と伝わる。近年の水害により基礎はかさ上げされている。戦前まで和ろうそくを製造販売していたため、「和ろうそく」看板をはじめ古い看板が残されており、往時をしのぶことができる。玄関の大戸は現在も夜には下ろされている。通り土間から見上げる火袋の真っ黒な柱・梁が長い時の流れを感じさせる。また土間には水屋戸棚やガス燈、二階納屋との荷上げ用滑車も残されており、作業場跡、土蔵を含め町屋の構成をよく残している。また歴代当主は茶道をたしなみ吉田家監修の茶室も確認できる。

